

●本社

〒183-0055 東京都府中市府中町1丁目10番3号  
府中南ビル2F  
TEL.042-366-5951(代) FAX.042-336-6425  
(IP)050-3367-6943

●府中オフィス

〒183-0055 東京都府中市府中町1丁目10番3号  
府中南ビル2F  
TEL.042-366-3961(代) FAX.042-366-3968  
(IP)050-3367-6948

●新横浜オフィス

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2丁目7番17号  
KAKIYAビル3F、B1F  
TEL.045-474-6721(代) FAX.045-474-3635  
(IP)050-3367-6086

●日立技術センター

〒319-1222 茨城県日立市久慈町2丁目31番1号  
TEL.0294-53-3431(代) FAX.0294-53-3433  
(IP)050-3367-6426

●名古屋技術センター

〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内1丁目15番9号  
SUGAKICO第2ビル6F  
TEL.052-222-8491(代) FAX.052-222-8499  
(IP)050-3367-6613

●大阪技術センター

〒570-0028 大阪府守口市本町2丁目5番18号  
守口CIDビル B1F  
(IP)050-3733-0983

●福岡技術センター

〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通5丁目13番11号  
天神渡辺通ビル4F  
TEL.092-724-5701(代) FAX.092-724-5709  
(IP)050-3486-2238



日本テクノストラクチャ株式会社  
[www.nihon-tesco.co.jp](http://www.nihon-tesco.co.jp)

詳しくはこちらを  
ご覧ください!



人を幸せにするシステムを。



会社案内

NIHON TECHNO STRUCTURE Co.,Ltd

# 人を幸せにするシステムを。

私たちの仕事は責任重大です。

セキュリティ、ヘルスケア、決済、物流など世の中の基盤となる

社会インフラに大きく関わっているからです。

何千万人もの人たちの安全な生活や、生命、  
経済を私たちがつくるシステムが支えている。

そう思うと、真剣に取り組まなくては、

最後までやり遂げなくては。と

強い使命感とワクワクする気持ちが  
湧き上がってきます。

世の中をもっと幸せにするために、

次はどんなシステムが必要なのか。

いつも新しい答えを考え続ける、

日本テクノストラクチャアです。



# PHILOSOPHY

経営理念

## Mission

コーポレートミッション

- ▶ 地域・暮らし・人の情報化に貢献する  
製品 / ソリューション / サービスを提供する
- ▶ 柔軟な発想とチャレンジ精神に富んだ、  
働きがいあふれる企業となる
- ▶ 提案型の技術者集団となり、  
顧客のニーズに応える



## Vision

経営ビジョン

専門性で革新、新たな価値を創出!

業界の動向を見据え、  
独自の強みで市場を形成しよう!

## Value

行動指針



品質と専門性

品質と専門知識で先導し、  
信頼を築く



顧客との  
パートナーシップ

顧客の期待を超えた  
価値を創造



革新と感謝

挑戦を恐れず、  
感謝を忘れない



# QUALITY ASSURANCE

品質保証

## TESCOのTotal Quality Managementが信頼性の高いシステムソリューションを提供します。

日本テクノストラクチャでは「お客様が安心するソフトウェアを提供します」を品質方針に掲げ、プロジェクト管理と品質管理に標準化手法を導入しています。TESCO開発標準の適用から設計品質や評価品質の確保まで7つの開発標準を策定。周知・徹底することにより、多彩な分野へ安心と信頼のシステムソリューションをお届けしています。



### 1 計画

- ・TESCO開発標準
- ・プロセスワークフロー準拠
- ・内部工程表作成、外部工程把握



### 2 プロセス

- ・進行監視
- ・リスク管理
- ・提案、意見、具申



### 3 設計

- ・設計完成度を高める
- ・記載内容、粒度の最適化
- ・曖昧さの徹底排除
- ・SSIは、PS/ITに必要なインプットを提供



### 4 コード

- ・コードは見せるもの
- ・単純で美しいコード



### 5 評価

- ・ユーザー目線
- ・製品品質確保



# CERTIFICATIONS

各種認証

## 企業品質の証。各種認証の取得。

日本テクノストラクチャの企業品質の証、3つのマネジメントシステム。



### ISO/IEC 27001

#### 情報セキュリティ

セキュリティリスクに適切な対応(情報の機密性、完全性及び可用性を維持)

#### 情報セキュリティ基本方針

日本テクノストラクチャ株式会社は、情報処理サービス産業に従事する企業として、お客様に技術、品質、生産性、信頼性において、常に高いサービスの提供を経営方針として活動しています。

今後継続して、お客様からこのような仕事を頂くには、当社の信頼を維持し、信頼のブランドを築くことが重要です。当社では、お客様の信頼に応じて信頼されるサービスを提供していくことを目的に、この「ISMS基本方針」を定め、当社が取り扱う資産の適切な保護対策を実施するための指針とします。

この方針に沿って、情報セキュリティマネジメントシステムを確立し、導入、運用、監視、見直し、維持及び改善を行います。役員を含むすべての従業者は、この目的を理解し、当社のISMS基本方針ならびに確立した情報セキュリティマネジメントシステムの規定や手順を遵守することで、情報セキュリティ重視の考えで業務を遂行します。



### ISO 9001

#### 品質

一貫した品質の製品・サービスを提供し、顧客満足を向上させるための品質マネジメントシステム規格

#### 品質方針

お客様が安心する、ソフトウェアを提供します。

当社は生産効率を高め、品質の良いソフトウェアを作成し、お客様の要求に応えることを品質方針とします。

この品質方針を具体化するための基本的な品質システムを品質マニュアルに定めます。社内全ての組織は品質方針を理解するとともに、品質マニュアルに定められた品質システムを実施維持し、お客様が安心できるソフトウェアを提供してまいります。



### ISO 14001

#### 環境

環境を保護し、環境パフォーマンスを向上させるためのマネジメントシステム規格

#### 環境方針

地球温暖化に代表される今日の地球規模の環境問題の解決を図ることは人類共通の課題であり、恵み豊かな環境を健全な状態で保全し、将来の世代に引き継いでいくことは、私たちに課せられた重要な責務であります。

当社はこのことを念頭に置き、ソフトウェアの開発、提供を通じて、豊かな自然と人間とが共生する「適正共生社会」の実現に向け、環境マネジメントシステムを構築し、率先して取り組んでまいります。

# TOP MESSAGE

社長メッセージ

愚直に技術力を追求し、  
お得意先様や関係者の皆様、  
携わる皆が「幸せ」に。

日本テクノストラクチャ株式会社は、社員一人一人が夢・希望を持ち、技術者集団としてお得意先様の事業発展に貢献いたします。1975年創業以来、変化・進化するIT技術習得に情熱を持ち、謙虚な姿勢で学ぶことを忘れず、約半世紀を皆様と共に歩んでまいりました。これからの50年、100年も「ぶれることなく」地に足を付け成長してまいります。

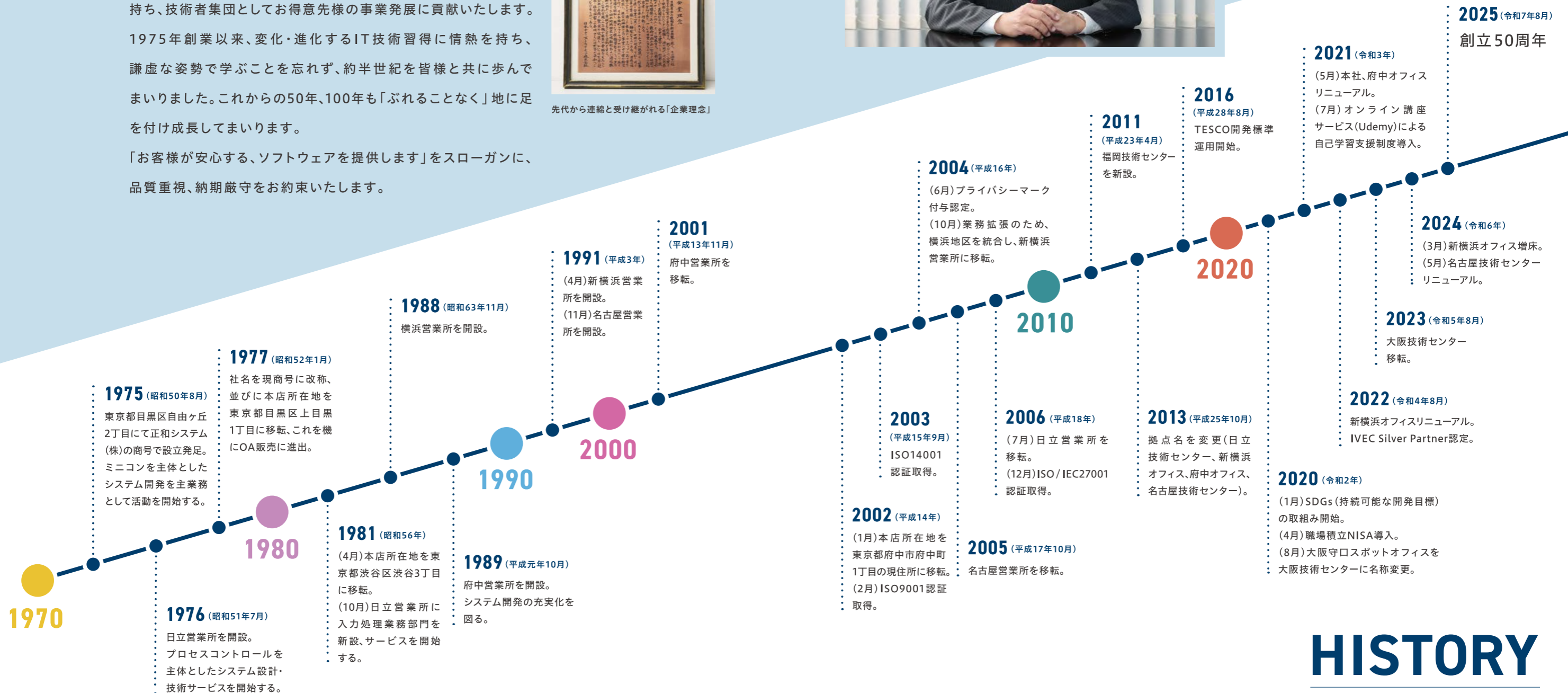
「お客様が安心する、ソフトウェアを提供します」をスローガンに、品質重視、納期厳守をお約束いたします。



先代から連綿と受け継がれる「企業理念」



代表取締役社長  
古市 和也



## HISTORY

沿革

# 本社・府中 オフィス

HEADQUARTERS・FUCHU OFFICE

— 担当事業 —



公共インフラ



## 長年にわたり公共インフラのシステム開発を手がけてきた開発拠点です。

TESCO本社と場所を同じくして、開発拠点の府中オフィスがあります。主要な顧客企業がすぐ近くにあり、コミュニケーションやサポートなどの顧客ニーズに迅速に対応できる体制を整えています。現在は主に防災・ダム管理・水管理システムなどの公共インフラや、再生エネルギー、道路など、社会的に重要なシステム開発を中心に手がけています。



### 府中オフィスで行っている主要な事業を教えてください。

防災、ダム管理、上下水道などの公共インフラをメインに事業を展開しています。公共インフラが事業の中心になっています。防災、ダムの監視・制御や、上下水道などの水管理をメインで担当しております。それ以外に電力系、道路系などの開発にも力をいれております。

### 例えば防災の場合、具体的にはどんな仕事を行っていますか。

災害を通知する機器を監視・制御するシステムを開発しています。

私が30年以上関わっているのが、「遠方監視制御システム」となります。災害発生時に緊急の連絡手段として使用される防災無線などの機器がありますが、緊急時に故障して利用できないといったことがないように、衛星回線や地上のマイクロ回線、有線回線などを使用して、24時間、機器の監視や制御をしています。

### 府中オフィスの強みはどんなところにあると思いますか。

オープン系、特にWEB系システムの開発が強みです。

WEB系システムの開発を得意としており、業務アプリや制御系アプリ、新規開発やオンプレミスからWEBシステムへのリプレイスなど、様々なシステム開発を行っております。最近では、クラウドを利用したシステム開発にも注力しており、既存システムからクラウドへ移行する話なども多く、クラウド技術者の育成にも力をいれております。



#### 本社・府中オフィス

連絡先

[本社] TEL:042-366-5951(代表) FAX:042-336-6425  
[府中オフィス] TEL:042-366-3961(代表) FAX:042-336-3968  
営業時間:9:00~17:45 土日祝日、年末年始を除く

所在地

〒183-0055  
東京都府中市府中町1丁目10番3号 府中南ビル2F

MAP



# Public infrastructure

公共インフラ



## 万全の管理体制が求められる公共インフラの運営を支えています。

日本の公共インフラは過渡期にあり、老朽化したインフラ対策だけでなく、海外資本による工場新設に伴う交通インフラの見直しなど、さらなる経済成長のためのインフラ整備も必要とされています。

当社は1990年代から公共システムの開発を手がけ、現在は衛星回線やマイクロ波多重無線を活用した防災システム、高速道路の利用料金の収受、渋滞回避や安全運転支援などの情報を提供するETCのシステム、放流を適切にコントロールするダムの水管理システムなど、領域は多岐にわたっています。今後もAIやIoTを活用した効率化を図りながら、より安全で安心な公共インフラの運営に貢献していきます。



### 長年にわたり蓄積した経験と技術を活用。

日本テクノストラクチャは30年以上にわたり公共インフラを手がけてきた実績があり、そこで得た経験や技術、ノウハウは現在も確実に継承されています。システムの開発だけでなく、運営・保守・改善するうえでも私たちの技術が活かされています。

### 防災

衛星回線や地上マイクロ波多重無線を使用して、行政機関などに設置されている防災無線設備の状態をリアルタイムに監視制御。災害が発生した際、迅速に機能する情報伝達体制を構築しています。



### 水管理

ダムの放流設備を操作規則に基づいて、確実かつ容易に操作できるよう構築されたシステムです。ダムの流水管理に関わる演算処理および放流設備の操作と支援を行っています。



# 新横浜オフィス

SHIN-YOKOHAMA OFFICE



## 最大規模の開発拠点。 世の中を支える多くのシステムが ここから生まれています。

新横浜オフィスは日本テクノストラクチャで最大の開発拠点です。主に電子マネー決済、ヘルスケア、セキュリティ、道路関係などの公共インフラ関連のシステム開発を手掛けています。プロジェクトの多くは自社内での請負開発なので、独自の価値観に基づいた成果を発揮しやすく、プラスアルファの提案力が顧客企業にも評価をいただいています。



### 新横浜オフィスで担当している主要な事業を教えてください。



新横浜オフィス 部長 K.M.

セキュリティとヘルスケアが2つの大きな柱です。セキュリティの比重が高く、この分野では映像監視の技術を駆使した防犯システムに関わっています。ヘルスケアの分野では超音波の診断装置、透析の装置のシステム開発を行っています。最近では新たに放送設備のシステムにも参入しています。

新横浜オフィス 部長 M.T.

物流、クルマの車載、道路などの公共インフラ、キャッシュレスのシステムです。もっとも長く続いているのは物流で、1990年代から関わっています。いまではSCM(サプライチェーンマネジメント)と呼ばれることが多いですが、物流システムの発展とともに、さまざまな変化に対応してきました。



新横浜オフィス 部長 S.S.

私が担当しているのは2023年の夏に発足したITサービスという、当社の中では新しい領域です。検証サービス、PMO(プロジェクトマネジメントオフィス)サービス、保守・運用サービスという3つのサービスを展開しています。創設からまだ日が浅いのですが、着実に成果が生まれています。



### 新横浜オフィス

連絡先 TEL: 045-474-6721(代表) FAX: 045-474-3635  
営業時間: 9:00~17:45 土日祝日、年末年始を除く

所在地 〒222-0033  
神奈川県横浜市港北区新横浜2丁目7番17号  
KAKIYAビル3F、B1F

### MAP



# Security

セキュリティ



## ニーズの高まるセキュリティの分野で さらなる安全と安心を追求しています。

予期せぬ事件や災害、トラブルが頻発するいま、さまざまな領域でセキュリティの重要性が高まっています。たとえば企業や公共施設などでは、防犯・防災対応やテロ対策を目的にデジタル化、高画質化された映像監視システムの導入が拡大しています。

日本テクノストラクチャでは長年にわたり公的機関のセキュリティを担当してきた実績があり、映像解析技術、各種データベースの応用技術をもとに、映像監視、ナンバー認識、画像鮮明化装置、防犯などのシステムを手がけています。セキュリティに対する要求は日増しに高度化する傾向にあり、つねに新たな技術やトレンドを研究し、来たるべきアップデートに備えています。



### セキュリティ事業の研究開発体制を強化。

2010年代からセキュリティに関わる業務が急激に増加し、研究開発の拠点である新横浜オフィスではスタッフ体制を強化しています。現在、セキュリティ関連のプロジェクトは日本テクノストラクチャにおける主要事業のひとつになっています。

### 映像監視

施設内に設置されている監視用カメラをチェックし、監視施設での映像切替え管理を行うシステムです。侵入監視および入退管理システムと連携し、トータルなセキュリティを実現します。



### ナンバー認識

高速で通過する車両を撮影した映像からナンバープレートを検出し、これに含まれる文字および数字を高い認識率でデータ化します。さまざまなシステムに利用されている技術です。



### 画像鮮明化装置

低照度や雪や霧などの悪条件下に設置され、本来の機能を果たしにくい監視カメラで撮像した画像をリアルタイムで改善。画像の鮮明化により、セキュリティレベル向上に貢献しています。



### 防犯

カメラやセンサーによって24時間365日、監視を行います。最近ではAIを活用し、不審な人物や怪しい行動があった場合は自動的に検知し、管理者に知らせるなど、省人化も進んでいます。



# Health care ヘルスケア



医療のデジタル化をサポートし、  
高度なヘルスケアを身近にしています。

高齢化社会が進む一方で、医療の現場における作業の増加、人手不足、医療費の財政負担の超過など多くの課題が浮き彫りになっています。日本テクノストラクチャは医療の分野に早くから参入し、国内外の医療施設・研究機関で広く使われている機器のシステムを開発するなど、多くの課題解決に携わってきました。

高品質な画像処理システムを組み込んだ超音波診断装置、安全性向上や業務の効率化を支援する人工透析の装置、検査・処方などの情報伝達を担う電子カルテシステム、スマートフォンによるお薬手帳など、医療の進化やDXに幅広く参画しています。

## 医療とヘルスケアの分野に早期から参画。

日本テクノストラクチャとヘルスケア事業の関わりは深く、2000年代から超音波診断装置のシステム開発に取り組んでいます。人の生命に関わる機器だけに安全性が極めて重要であり、私たちの厳格な品質基準にはこうした医療機器を扱ってきた経験も反映されています。



### 超音波診断装置

身体に超音波を送信し、組織からの反射(エコー)を映像化することで、身体の断面画像をモニターに表示する装置です。妊婦さんの胎児検診など、さまざまな医療の現場で利用されています。



### 電子版お薬手帳

スマートフォンで処方箋の受付から服用薬の記録・管理までサポートでき、薬局店舗用のWEBアプリケーションにも対応できます。マイナポータルと連携した機能も付加されています。



### 電子カルテ

患者の病気や症状について記録だけでなく、医師が看護師などの医療技術職に対して行う指示内容を直接入力して、迅速に伝達することができます。業務時間の短縮に貢献しています。



### 透析装置

透析装置は体内の毒素や余分な水分を除去するための医療機器です。透析液浄化と管理法、透析通信の共通プロトコル、遠隔モニタリングなどのさらなる進歩に向けて開発が進行しています。



# Cashless キャッシュレス



さまざまな決済システムを開発し、  
キャッシュレス社会を推進しています。

日本テクノストラクチャは、クレジット決済や電子マネー誕生初期から、専用端末における基幹部分のシステム開発に携わり、同分野の発展に大きく貢献してきました。絶対にミスが許されない決済という分野で、あらゆる運用方法やリスクを見据えながら、厳しいニーズに応える高品質なシステムを生み出し続けています。決済スピードの改善や各種決済への対応強化など、さらなる利便性向上を追求しながら、国際標準仕様を取り入れたグローバル市場向けのシステム開発にも取り組んでいます。

## 電子マネーチャージ機

コンビニやスーパーでの電子マネー決済に対応。長年培った決済端末の技術と知識を生かし、電子マネーのチャージ機やポイント還元機などの開発に携わっています。



## KIOSK 端末

飲食店や病院、レジャー施設などの商品購入や利用料を決済するため、現金・電子マネー・クレジット支払いに対応する無人型端末を開発。待ち時間や人件費削減などに貢献しています。



# SCM サプライチェーンマネジメント



効率化が急務の物流の世界に  
即効性のあるシステムを提供します。

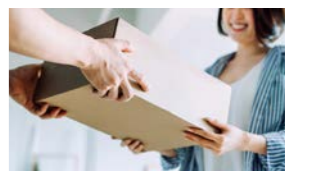
## 倉庫 運用管理ソリューション

倉庫内の在庫や物流を効率的に管理。在庫の受け入れから出荷までのプロセスを自動化し、リアルタイムで在庫状況や商品の位置を把握。効率的な受注処理やピッキング作業を行うことができます。



## 物流 配送管理ソリューション

商品や貨物の受注から配送までのプロセスを効率的に管理。受注の処理、在庫の管理、配送ルート最適化、配送スケジュールの調整などを自動化。顧客に正確な配送予測や情報提供を行うことが可能です。



## 店舗 商品管理ソリューション

小売業や流通業において商品の在庫管理や販売活動を効率化。商品の受発注や在庫管理、売上の分析、顧客データの管理などを自動化し、店舗の運営コストを削減。在庫の最適化や売上の最大化を支援します。





# Public infrastructure

公共インフラ

交通と放送。新たなインフラを支えるシステムを開発しています。



交通では高速道路のETCの基本システムのほか、交通量を計測して渋滞予測をするシステムの開発に関わっています。路上に設置したセンサーから集めた情報をGPSを活用するなどして渋滞速度の精度を高めています。

放送の分野では放送局のデータ放送などのコンテンツを視聴者に自動配信するシステムを開発しています。映像のネット配信の普及拡大に応じて参画した新しい事業です。セキュリティと同様に、24時間365日、正常に稼働することが求められています。

## ETC

有料道路の料金所に自動車が進入すると大型、小型などの車両を判別し、自動的に料金を収受するシステム。渋滞回避や安全運転支援などの情報を提供する機能も付加しています。



## 放送

放送局のオンデマンドサービスなどネットワークを通じたコンテンツ配信で、視聴者のリクエストに合わせて番組を自動的に切り替えるシステムなどを開発しています。



# Automobile

車載システム

クルマの自動運転技術を応用して新たな課題解決に取り組んでいます。



制御系や組込系のシステムを得意とする日本テクノストラクチャアでは、各種搭載装置や車載システムに関わってきました。車載システムでは、デジタルメーター、ボディコントロールなどのシステム開発が多くを占めています。これまではドライバーの認知・判断・操作などの運転操作を補助する安全運転支援システムが主流でしたが、今後は「自動運転」の実現に向けた技術向上を重視し、この分野に力を入れていきます。

## デジタルメーター

車内の計器盤(ダッシュボード)に設置されたデジタルディスプレイで表示される計器のことを指します。従来のアナログメーター(針式計器)に代わって、デジタルテクノロジーを用いて情報を表示します。



## ボディコントロール

車両の操縦性や安定性を向上させるためのシステムです。車両のサスペンション、ステアリング、ブレーキ、駆動系などを制御し、車体の動きや姿勢を調整することで、安全性や快適性を向上させます。



# IT service

ITサービス

開発から検証、保守・運営までトータルなソリューションを提供します。



新たなソフトウェアを導入する際、十分なテストを行わずに使用を開始すると思わぬ障害やトラブルが発生し、社会に大きな影響を与えてしまう場合があります。こうしたリスクを防ぐために、日本テクノストラクチャアでは検証サービスを提供しています。

ソフトウェアテストに特化したエキスパートである第三者が客観的な視点から品質の検証・評価を行い、当事者では気づかない不具合や欠陥を検出します。

PMO(プロジェクト・マネジメント・オフィス)支援サービスでは、より効果的なプロジェクトの運営をサポートします。

## ITサービス部門を新設し、提案力を強化。

2023年から新たにITサービス部門がスタート。プロジェクトの立ち上がりの段階から参画し、開発から保守・運営までトータルなサービスを提供できるように設立されました。従来のソフトウェア会社の枠に収まらない新しい体制で、より質の高いソリューションを提供したいと考えています。



## 検証サービス

ソフトウェアが仕様に準拠しているか、期待される動作や機能を適切に実行するかを検証します。機能、パフォーマンス、セキュリティ、互換性、ユーザビリティなど、さまざまな角度から評価を行います。



## PMO支援サービス

PMOの活動や業務をサポートするサービスを提供します。効率性や品質を向上させるためにスケジュールやリソース、タスクの管理を行い、プロジェクトマネージャーを支援し、円滑な運営を促進します。



## 保守・運用サービス

システムの安定した運用を維持し、必要に応じて修正や改善を行います。システム監視とトラブルシューティング、定期メンテナンスとパッチ適用など必要なサービスをワンストップで提供します。





## 日本テクノストラクチャアのDNAを色濃く受け継ぐいちばん最初の開発拠点です。

日立技術センターは社内でもっとも長い歴史を持つ開発拠点です。物流・電子マネーシステムなど、10年、20年と続いているようなシリーズ案件を中心に手がけています。首都圏グループと連携した業務が多いですが、最近は単独での活動も増え、近隣エリアの顧客企業に根ざした開発案件にも関わっています。



### 日立技術センターで行っている主要な事業を教えてください。

キャッシュレス決済と車載関連システム。この2つが主な事業です。

キャッシュレス決済はずいぶん前からやっています。日立技術センターで担当しているのは「オールインワン決済端末」と呼ばれているものでクレジットカードや電子マネー、QRコード等の専用読取機を集約した端末のシステムです。以前はスーパーやコンビニのレジ横スペースに幅を大きくとって置いてあったものですが、どんどんコンパクトになり、その都度ソフトウェアも変わっています。車載システムは自動運転に関するシステムが多くなっています。

### 日立技術センターの強みはどんなところにあると思いますか。

愚直にしっかりとモノづくりをする。そんな基本姿勢かもしれません。

顧客企業との信頼関係が前提としてありますが、やはり品質をよくすることを大切に、愚直にしっかりとつくりあげるところでしょうか。

例えば決済の仕事は最初はC言語でシステムを開発していましたが、あるときAndroidの汎用ソフトに切り替わりました。当時のプロジェクトでは4社か5社、関わっていたのですが、いま結果的に残っているのは当社だけになりました。ノウハウをちゃんと蓄積していることもありますが、最後まで確りと品質を作り込み、顧客企業であるお客様が何を求めているかを理解し、つくりあげる。スタッフは本当にがんばって相当な苦勞をしましたが、そんなところが評価されたのだと思います。



日立技術センター 課長 O.H.



#### 日立技術センター

連絡先 TEL: 0294-53-3431(代表) FAX: 0294-53-3433  
営業時間: 9:00~17:45 土日祝日、年末年始を除く

所在地 〒319-1222  
茨城県日立市久慈町2丁目31番1号

#### MAP



# Cashless

キャッシュレス



## キャッシュレス社会を支える専用端末の進化と伴走しています。

キャッシュレスがクレジットカードだけだった時代から、私たちは決済端末のシステム開発に取り組んできました。端末は決済の多様化に伴い「オールインワン決済端末」という姿に発展し、電子マネー、QRコード、ポイント、タッチ決済、セルフレジなど、新たな決済の手段や方法が登場するたびにシステムをアップデート。旧来のプログラムのOSがAndroidなどに切り替わるといった変革期にも立ち会い、システムの基盤を支えてきました。こうした知恵と経験を先進の分野で活かしています。



### マルチ決済端末

飲食店やホテル、タクシーなどでの支払いをクレジットカードで行なう際に必要になるクレジットカード決済端末。その基幹部分のシステムを長期にわたって開発してきました。



# Automobile

車載システム



## 自動運転技術から広がる新たな可能性に挑戦しています。

自動運転技術のシステムは最近ではプログラムがモデリング化され、以前よりスピーディにシステムを開発できる段階にきています。こうした自動運転のシステム開発を進めるとともに、私たちは新たなプロジェクトに取り組んでいます。それは工事現場で作業をする大型重機に自動運転を装備するというもの。公道ではまだ実装が困難な完全自動運転ですが、工事現場では導入する動きが進行中。人が作業するには危険が伴う場所でも、自動運転によって安全に工事を進めることを可能にしています。



### セーフティ・オートドライブ

クルマの自動運転技術の一部であり、車両が搭載するセンサーやカメラ、レーダーなどの技術を使用して、周囲の状況をリアルタイムで監視し、適切な行動を実行することで安全な運転を実現します。



# 名古屋 技術センター

NAGOYA TECHNOLOGY CENTER

－ 担当事業 －



デジタル  
マニュファクチャリング



## 日本のモノづくりの中心部で 製造業や社会インフラエネルギー 分野のDXをサポートしています。

日本のモノづくりの中心地のひとつ、中部エリアに位置する名古屋技術センター。グローバルに展開する地元の大手メーカーを主な顧客企業とし、その基幹業務システムの開発に取り組んでいます。製造業においては、販売、生産管理、在庫管理、原価管理を一貫して行うことができるシステムを開発しています。社会インフラエネルギーの分野では、設備資産管理、作業標準管理、予防保全管理など、基幹業務の統合管理を支えるシステムの開発を行っています。



### 名古屋技術センターで行っている主要な事業を教えてください。

デジタルマニュファクチャリングと  
エンタープライズアセットマネジメントという2つの領域がメインです。

グローバルに展開する大手自動車メーカー、社会インフラエネルギー供給企業。この2つの顧客企業のシステム開発が柱になっています。

「デジタルマニュファクチャリング」とは、製造工程におけるデジタル技術の有効活用のことをいいます。部品・資材調達から設計・製造・検査工程のプロセスの最適化を推進したり、属人的な作業を排し、リアルタイムに状況を把握・対応することで、生産効率向上や安全性の確保に大きな役割を果たします。「エンタープライズアセットマネジメント(EAM)」とは、組織が持つさまざまな資産を効率的に管理するためのプロセスやシステムを意味します。資産台帳の登録、保全計画、作業指示管理、調達・在庫管理。こうした資産の情報に紐づく業務データを一元管理することで、効率化・高度化したインテリジェントな設備管理を実現します。



名古屋技術センター 課長 O.A.

### 名古屋技術センターならではの戦略のようなものはありますか。

お客様の懐に飛び込んで課題を解決することを心がけています。

顧客企業との関係が深く、独特の世界観を持つお客様の企業文化に寄り添って仕事をすることがあります。お客様が困っていることを解決するには、業務のことをきちんと理解しなくてはならないため、お客様の懐に飛び込んでソリューションに取り組んできました。そんな背景もあり、最近では上流の工程から関わらせていただく仕事が増えてきました。



#### 名古屋技術センター

連絡先 TEL: 052-222-8491(代表) FAX: 052-222-8499  
営業時間: 9:00~17:45 土日祝日、年末年始を除く

所在地 〒460-0002  
愛知県名古屋市中区丸の内1丁目15番9号  
SUGAKICO第2ビル6F

MAP



デジタルマニュファクチャリング

# Digital Manufacturing



## 製造現場のデジタル技術活用で 高品質なモノづくりを支えています。

製造の現場にデジタルが導入されて久しい現在、問われているのは、そのシステムがしっかり機能するかどうか。どれだけデジタル化が進んでも生産状況を管理するシステムの完成度が低いと生産性の向上は望めません。

日本テクノストラクチャは大手グローバル企業の生産ラインを管理するシステム開発に深く関わり、情報の連携、統合、有効活用によるデジタル化を推進。生産管理システムは納品すればそれで終わりではなく、つねに改善点を見つけ、より精度の高いシステムにアップデートする不断の作業が求められます。



### 長期的な視野で製造のDXをサポート。

公共性の高いエネルギー供給会社の設備管理システムも担当。各地に無数に点在する設備を管理し、不具合や老朽化が発生している設備を「見える化」するなど、社会インフラともいえる重要なサービスの保守に貢献しています。

### 生産管理

製造物を構成する部品表を通じて、在庫のシミュレーションやタイムリーな調達・物流・製造・販売管理などプロセスの可視化・効率化を実現。生産管理に深く関わる基幹系システムの開発を長年行っています。



### ERP

基幹系業務を支えるシステムによる統合管理を推進。社会インフラエネルギー分野においては、設備の予防保全点検や作業管理、安全管理などを、総合的な資産情報を通じて一元管理するシステム開発に携わり、高い評価をいただいています。



### AI/IoT

製造業において積極利用されているチャットボットの要約機能や音声認識議事録アプリに関連したシステム開発に携わっています。今後は製造業IoT基盤への参画を視野に入れ、さらなる技術力の伸張を考えている分野です。





## 2020年に誕生したばかりの 最も新しい技術開発の拠点。 いま急成長を続けています。

大阪技術センターは2020年に開設した当社で最も新しい開発拠点です。IoT、ディープラーニング、ビッグデータ解析などの技術開発にも強みを持っており、住宅やマンションをスマート化するシステム、さらにはオフィスビルの居住空間の未来を創造するシステムづくりにも携わっています。



### 大阪技術センターで行っている主要な事業を教えてください。

**IoTを中心とした事業で、住宅IoTと非住宅IoTという分野です。**

大きくくりで言うと、住宅IoTや非住宅IoTという分野で、IoT関連のシステム開発をメインに取り組んでいます。センサー、デバイス、あとはデータを収集するサーバーのアプリケーションやモバイルのアプリケーション、それらをつなぐネットワークにも関わっています。

### 大阪技術センターならではの戦略のようなものはありますか。

研究開発からプロジェクトに参画できるようにお客様とのつながりを大切にしています。顧客企業に研究開発部門があり、そこのお客様とのつながりが深く、新しい技術や新しいチップをどう活かすかという要素技術の開発からプロジェクトに携わることがあります。実際にその技術が使える段階になった際に、商品開発部門のお客様にご紹介いただくケースもあり、また、新しい技術への挑戦そのものが得難い経験となるので、できる限り研究開発の段階でプロジェクトに参画したいという思いがあります。

### 大阪技術センターの強みはどんなところにあると思いますか。

**柔軟な対応力と粘り強い課題解決の支援。ここに強みがあります。**

私たちには2つの対応力があると考えています。1つめは技術の対応力です。技術調査、試作評価・検証、PoC(Proof of Concept: 概念実証)対応から、お客様の立場に立って密に連携しながら粘り強く解決の支援ができるという技術対応力です。2つめは開発の対応力です。システム要件から評価まで一貫してお客様とよく相談し、プロジェクトを成功に導く柔軟な開発対応力です。



#### 大阪技術センター

連絡先 TEL : 050-3733-0983  
営業時間 : 9:00～17:45 土日祝日、年末年始を除く

所在地 〒570-0028  
大阪府守口市本町2丁目5番18号  
守口CIDビル B1F

#### MAP



# IoT system

IoTシステム



## 生活を快適にするIoTシステムの さまざまな分野に参画しています。

生活やビジネスに新たなイノベーションをもたらすことが期待されている「IoT」。日本テクノストラクチャは、デバイスの近くでデータを処理するエッジコンピューティングから、インターネットを介してリソースやサービスを提供・利用するクラウドコンピューティング、無数のデータを総合的に活用するネットワークコンピューティングまで、IoTシステムのさまざまな領域でシステムを開発しています。また住宅IoT、非住宅IoTといったジャンルの垣根を越えて、家庭用のスマートホームをはじめ、オフィスや公共施設など、さまざまな場所で活用できるソリューションの提供に関わっています。

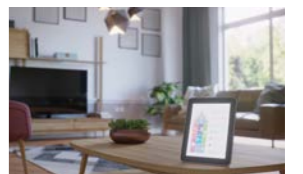


### 構想の段階からプロジェクトに参加。

IoTシステムの開発はゼロからのスタートが多く、まだ事業の輪郭が明らかになっていない段階から技術の検証や提案を行うケースが珍しくありません。顧客企業の良きパートナーとして、私たちは積極的に提案を行い、システム開発に取り組んでいます。

### 住宅IoT / 非住宅IoT

住宅IoTは、家庭内の機器や設備をインターネットに接続し、自動化やリモート制御を可能にするシステムです。非住宅IoTは、工場やオフィスなど家庭以外の環境においてIoT技術を活用するシステムです。



### エッジコンピューティング

IoTシステムにおけるデバイスやセンサーが生成するデータをクラウドに送るのではなくデバイスやセンサーの近くの「エッジ」で処理し分析。リアルタイムでの応答や処理スピードの高速化を実現します。



### ネットワークコンピューティング

分散されたIoTデバイスやセンサーがネットワーク上で相互に通信し合うことで、データを交換しつつ、集中的なデータ処理や分析を実施。デバイス間の連携やデータの有効活用を実現します。



# 福岡 技術センター

FUKUOKA TECHNOLOGY CENTER



## 西日本のシステム開発を担う 地域密着型の開発拠点。 クラウドに強みがあります。

福岡技術センターはクラウド技術と組込技術を用いたシステム開発を得意とする開発拠点で、大阪技術センターと連携して西日本地区全体の開発を担っています。特に、クラウド技術が強みとしており、クラウドサービスの開発も行なっています。また、地元福岡や九州の社会貢献につながる新事業にも着手しています。



### 福岡技術センターで行っている主要な事業を教えてください。

#### クラウド技術と組込技術が強みとしたシステム開発を行なっています。

福岡技術センターでは、住宅IoTシステム、および、非住宅IoTシステムの開発に取り組んでいます。特に、クラウド技術と組込技術が強みとしており、それぞれの技術を活かした分野のシステム開発を行なっています。クラウド技術を活かした分野では、クラウド上に構築される機械学習基盤の開発に携わっています。組込技術を活かした分野では、様々なセンサーによるデータ取得、ネットワークを介した通信によるデータ収集と機器制御を行うなどのIoTシステムの開発に取り組んでいます。

### 福岡技術センターならではの戦略のようなものはありますか。

#### チームで連携しつつも、個人の強みを生かした組織にしたい。

福岡技術センターはまだ人数が少ない拠点です。だからこそ、メンバー間で密に協力しながら事業を推進しています。それに加えて、メンバーそれぞれが率先してお客様とコミュニケーションしながら、目標に向かって取り組んでいます。

### 地域密着型の企業をめざすという思いは強いのでしょうか。

#### 地元の福岡や九州に貢献できる仕事があればぜひ取り組みたいですね。

現在の顧客企業のほかに、地元の福岡や九州の企業の仕事にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。今まで培ってきたクラウド技術と組込技術を活かしたシステム開発やアプリ開発などを通して貢献したいと考えています。

#### 福岡技術センター

連絡先 TEL : 092-724-5701 (代表) FAX: 092-724-5709  
営業時間 : 9:00 ~ 17:45 土日祝日、年末年始を除く

所在地 〒810-0004  
福岡県福岡市中央区渡辺通5丁目13番11号  
天神渡辺通ビル4F

#### MAP



# IoT system

IoTシステム



## クラウドと組込の技術を活かし、 革新的なIoTシステムに挑んでいます。

日本テクノストラクチャでは拠点ごとに、それぞれの強みを活かした特色のある事業を展開しています。数あるIoTシステムのなかでも福岡技術センターがもっとも得意とするのはクラウド技術と組込技術。住宅IoT、非住宅IoTに軸足を置きながら、さまざまなシステムの開発に取り組んでいます。クラウドの分野で急速にニーズが高まっているのが機械学習の基盤開発で、顧客企業が新たに創設するプラットフォームを構築するプロジェクトに参画しています。ゼロからスタートし、技術課題の解決や技術調査、試作の検証などを行いながら、従来にない画期的なシステムの開発に着手しています。



### 福岡発の製品やソリューションを構想。

福岡技術センターから、日本テクノストラクチャ独自の製品やソリューションサービスを世の中に発信していく。そんなプロジェクトが進行しています。第一弾として学校や一般企業に向けた SaaS (Software as a Service) の開発を進めています。

### クラウドコンピューティング

IoTシステムに配した複数のデバイスやセンサーが集めたデータを遠隔のサーバーにあるクラウド上に送信。大規模なデータの分析や高度な処理を可能にし、リアルタイムの検証や意思決定を支援します。



### 住宅IoT / 非住宅IoT

住宅IoTでは組込技術を活かし、防災やセキュリティにつながるシステムを開発しています。非住宅IoTでは機械学習を活用した商業施設のマーケティング支援など実験的なプロジェクトにも参画しています。



### ネットワークコンピューティング

住宅IoT / 非住宅IoTにおけるデータの収集、処理、分析をクラウドで円滑に行うための統合ネットワークを構築。効率的な運用管理やサービス提供を実現し、IoTシステム全体の価値を向上させます。





TESCOは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

## TESCO Sustainable Action

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 1. 節電・節水を心掛けよう       | 6. 家事を平等に分担しよう         |
| 2. マイバックやマイボトルを活用しよう | 7. 災害に対する備えをしよう        |
| 3. フードロスを減らそう        | 8. 認証マーク入りの商品を購入しよう    |
| 4. 再利用・リサイクルを積極的にしよう | 9. フェアトレード商品を購入しよう     |
| 5. できるだけ公共交通機関を利用しよう | 10. 持続可能なクリーンエネルギーを使おう |



### 持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)とは

2015年9月、国連サミットにおいて「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。このアジェンダは、17の目標と169のターゲットから構成されており、2030年までに、社会的な問題解決を進めるとともに、持続可能な社会を実現するために気候変動対策や環境保護を図るものです。日本テクノストラクチャ株式会社は、社会から信頼される企業であり続けるために、SDGsの目標達成に向けて貢献してまいります。

## TESCOのSDGs達成へ向けた取組事例

日本テクノストラクチャ株式会社は、さまざまな企業活動/事業活動を通して、SDGsの目標達成、持続可能な社会の実現に向けた活動を推進してまいります。

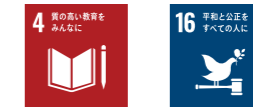
### CSR 意識教育



全社員を対象に下記テーマの社員教育を毎年継続して実施しています。

- |               |             |
|---------------|-------------|
| 1. コンプライアンス順守 | 4. 環境保護     |
| 2. ハラスメントの撲滅  | 5. ヘルスケア    |
| 3. 個人情報保護     | 6. 情報セキュリティ |

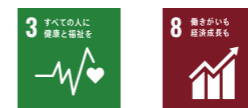
### 人権の尊重



健全な企業活動を通じて人権を尊重し、すべてのステークホルダーの皆さまを大切にします。

1. 人種、宗教、性別、国籍、心身障がい、年齢などに関する差別的言動、暴力行為、セクシャルハラスメント、パワーハラスメント(職場のいじめ、嫌がらせ)などの人権を侵害する行為を許しません。
2. ハラスメントなどの相談や公益通報を受け付ける「相談窓口」、「公益通報窓口」を設置しています。

### 働き方改革



社員一人ひとりが能力を発揮できる、快適な職場環境づくりと心身の健康保持増進活動を推進し、エンゲージメントを深めています。

1. セルフビズを推進(ドレスコード廃止)し、セルフマネージメントへのシフト・意識改革を推進しています。
2. 有給休暇の計画的取得を促進し、社員のワーク・ライフ・バランスの調和実現を目指しています。
3. プロセス改善/最適化施策により、時間外稼働を継続的に削減しています。また、弊社製「タイムシートシステム」を活用することで、法令順守、時間外労働の早期抑制を実現しています。
4. 従業員の健康を増進し、疾病の早期発見・治療に貢献しています。
5. 健康経営を実践しています。

### 環境 / 環境資源保護



環境マネジメントシステム(ISO14001)に基づき、環境負荷低減に取り組んでいます。

1. 電気使用量削減(省エネルギー)  
始業前、昼休みや執務者のいないエリアの消灯徹底、定時退社の推進等に取り組んでいます。
2. 紙の総使用枚数削減(省資源)  
業務/会議のペーパーレス化推進。保存文書の電子化によるペーパーストックレスを推進しています。
3. 廃棄物量削減  
廃棄物の削減に努め、廃棄物の適正な処理を行っています。
4. グリーン調達実施  
環境に配慮した物品および省エネルギー基準適合製品を購入しています。

### 情報セキュリティ



情報セキュリティマネジメントシステム(ISO/IEC27001)、プライバシーマークに基づき、機密情報の徹底管理と、その不適切な開示・漏洩・不当利用の防止および保護に努めています。

1. 情報セキュリティマネジメントシステム関連規定、個人情報保護関連規定を策定しています。また、情報セキュリティマネジメントシステム、プライバシーマークの社内取り組みのPDCAサイクル化のため、毎月定期的に推進会議を開催しています。
2. セキュリティ意識啓発のため、毎年全社員に情報セキュリティ・リフレッシュ教育を実施しています。

### 品質保証



品質マネジメントシステム(ISO 9001)に基づき、お客様に安心・満足していただける、高品質で安心な製品、サービスおよび開発プロセスを提供します。

1. 品質経営による地域社会貢献を実践します。
2. 品質保証、品質管理、品質プロセスの改善活動を継続的に実施します。